

餌入りなので、パックの中で  
増える!出る!

農林水産省登録 第23036号

捕食性天敵

農林水産省登録 第23005号

スパイカル®  
プラス

ハダニ類に!

ミヤコカブリダニ剤

スワルスキー®  
プラス

アザミウマ類  
コナジラミ類に!

スワルスキーカブリダニ剤



なし



マンゴー

小さな  
増殖工場!



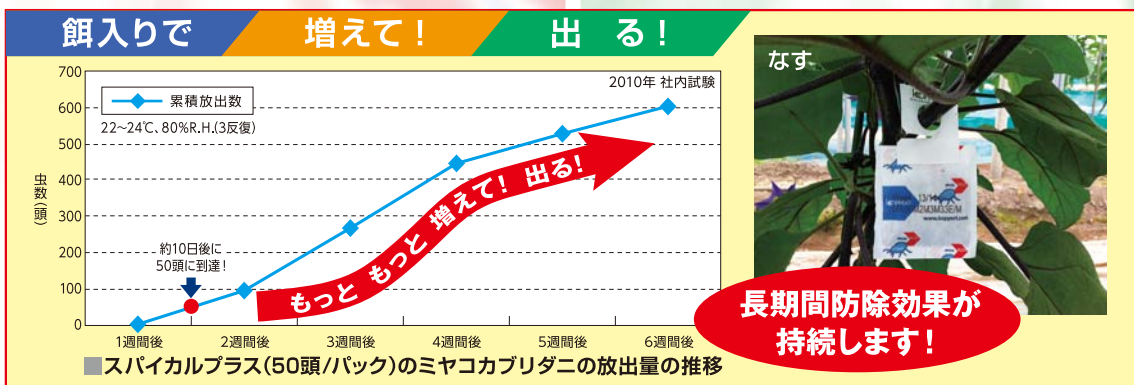
なし、ぶどう、おうとう、  
かんきつ、なす、  
いちご育苗期、花き類などに!

ハダニを捕食中のミヤコカブリダニ



マンゴー、すだち、  
ハウスミカンなどの果樹類、  
きゅうり、花き類などに!

アザミウマ幼虫を捕食中のスワルスキーカブリダニ



パック製剤は守って増やして分散するので、やや遅効的。即効性を期待するならボトル剤

捕食性天敵 農林水産省登録 第22232号  
**スパイカル® EX**  
ミヤコカブリダニ剤



捕食性天敵 農林水産省登録 第21685号  
**スパイデックス®**  
チリカブリダニ剤



捕食性天敵 農林水産省登録 第22304号  
**スワルスキー®**  
スワルスキーカブリダニ剤



「ゼロ放飼」で待ち伏せ防除!

※「ゼロ放飼」とは、スパイカルEXを放飼する前に影響の少ない化学農薬を散布してハダニの密度をできるだけ「ゼロ」にした後に放飼することです。

高い捕獲力と増殖力で  
防除の取りこぼしもカバー!

なす・ピーマン等の果菜類の  
アザミウマ類・コナジラミ類  
防除に!

イチゴのハダニ類に強カタッグの同時放飼!

# 吊り下げパックで問題害虫を長期間防除!

捕食性天敵  
**スパイカル®プラス**

ミヤコカブリダニ剤 100パック入(5000頭入) 吊り下げパックタイプ

成分：ミヤコカブリダニ……50頭/パック、サヤアシニクダニ、ふすま等  
性状：淡褐色粒

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ミヤコカブリダニを含む農薬の総使用回数
野菜類(施設栽培)	ハダニ類	40~120パック/10a (約2000~6000頭/10a)	発生初期	-	茎や枝等に吊り下げて放飼	-
豆類(種実)(施設栽培)						
いも類(施設栽培)						
花さ類・観葉植物(施設栽培)						
果樹類						
		1~5パック/樹 (約50~250頭/樹)				

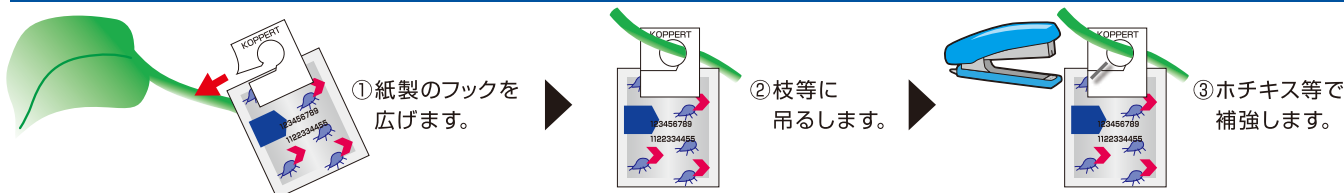
捕食性天敵  
**スワルスキー®プラス**

スワルスキーカブリダニ剤 100パック入(2500頭入) 吊り下げパックタイプ

成分：スワルスキーカブリダニ……250頭/パック、サトウダニ、ふすま等  
性状：淡褐色粒

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	スワルスキーカブリダニを含む農薬の総使用回数
野菜類(施設栽培)	アザミウマ類	100~200パック/10a (約25000~50000頭)	発生直前~発生初期	-	茎や枝等に吊り下げて放飼	-
豆類(種実)(施設栽培)	コナジラミ類					
いも類(施設栽培)	チャノホコリダニ					
なす(露地栽培)	アザミウマ類	1~4パック/樹 (約250~1000頭)				
果樹類(施設栽培)	ミカンハダニ					
マンゴー(施設栽培)	チャノキイロアザミウマ	200パック/10a (約50000頭)				
花さ類・観葉植物(施設栽培)	アザミウマ類					

## パック剤の取り付け方は簡単!



## 露地で使う場合は、パック内に雨が入ることがあるので、市販の果実袋の利用を推奨!



パック内で守られているカブリダニは

- 作物上の餌(花粉、害虫他)不足
- 施設内の湿度低下
- 摘葉・摘芯作業による天敵の施設外への持ち出しなどの影響を受けにくく、放出後に高い定着性を示します。

スワルスキーカブリダニの分散距離と日数のイメージ図 (日数は目安です)

スワルスキーカブリダニをなす、ピーマンなどに使用する場合、ミヤコカブリダニをいちごなどに使用する場合は、分散に時間を要することから、ボトル剤をご利用ください。特に株同士が離れている場合は、行き渡るまでに時間がかかります。

## パック剤は便利だけど…イチゴ本圃にはやっぱりスパイカルEX(ボトル剤)が一番!!



- 1本で、約400箇所/10a放飼可能。
  - 圃場全体に放飼することでハダニ発生株に速やかに到着でき、ハダニ防除が早い。
  - 発生が多いところに多めに振ると、強弱がつけられる。
- 天敵分散範囲(増殖場所)  
ハダニ発生地点



- 1袋(約100パック)で、約100箇所/10a放飼可能。
  - 設置間隔が広いので、分散が遅く、パック間に隙ができ、ハダニが発生しやすいことも。
  - 低温時はさらに放出にかかるため、ハダニ発生株への到着が遅くなり、ハダニ防除に時間がかかる。
- 放飼間隔のイメージ図

天敵はさまざまな防除手段を組み合わせたIPM(総合的病害虫防除)の中心的手段として最適です。

●ラベルをよく読む。 ●記載以外には使用しない。 ●小児の手の届く所には置かない。 ●空袋は圃場などに放置せず、適切に処理する。

アリスタライフサイエンス株式会社  
〒104-6591 東京都中央区明石町8-1  
TEL 03-3547-4415 FAX 03-3547-4695  
http://www.arystallifescience.jp/  
アリスタライフサイエンス 検索